

10/13

## 企業説明会(企業から学生へ課題の説明)

### 課題1 電気通信工事業務に関するスムーズな技能継承

当社では電気通信工事について、北電・NTT・KDDI・ソフトバンク・楽天モバイルなど、キャリア様によって工事内容が異なり、工事過程で職人技が必要になる。年々平均年齢が高くなっており、中堅や若年層も短期間で技能を習得させたいと考えている。スムーズな技能継承により工事技術精度の向上と若年層のやりがいを生み出したい。

### 課題2 当社のホームページ活用方法について

当社では、最近ホームページのリニューアルを実施。学生の方々にとって魅力ある会社をアピールし興味を持っていただき応募者増加につなげていきたい。なお、現場作業風景の写真掲載については、守秘義務の観点で掲載は難しい。

12/8

## 中間報告会(学生から企業へ検討状況を説明)

提案

#### 【技能継承について】

現状:時間と人手が不足しており、覚えることが多い  
対応:360度カメラで現場を撮影し、映像の視聴で現場作業を疑似体験させる

#### 【HPについて】

現状:写真が少なく、見出しが細分化され情報が見つけにくい  
対応:社員の写真や声を掲載し、興味を持てるような内容やレイアウトに変更する

意見

- ・守秘義務の観点から写真の掲載は難しいが、教育にカメラを使用するのはありだと思う。
- ・学生は入社後からスキルアップするまでの流れがあるとイメージしやすいのだろうか。どのような情報に関心があるのか。



ZOOM開催でのプレゼン。360度カメラで撮影した映像がスマートフォンでどう見えるか説明中

1/12

## 最終報告会(学生から企業へ解決策の最終提案)

### 技能継承効率化のコンセプト 「知識と現場の架け橋」

「知識がある」状態から「現場で活躍」へ  
座学 → 「360度カメラ動画視聴」 → 現場

#### 【動画記録のメリット】

動画のコメント欄を活用すれば、新人が動画中の不明点等を質問し、指導者は現場移動中等の隙間時間で回答するといったことが可能

#### 【360度カメラのメリット】

自分の手元以外の周囲の状況も確認でき、実体験に近い経験が出来る  
ドローンと組み合わせて撮影すれば高所作業の疑似体験映像も制作可能

### HP改善案のコンセプト 「企業の中を就活生に発信」

中小企業と大企業のHPを分析し比較  
→「就活ページ」の有無、掲載項目に違いあり

- 就活ページを作成&就活生が重視する項目掲載  
「職員の挨拶・メッセージ」、「社員紹介」  
「特色(福利厚生等)」、「会社の取組」
- 見出しを最小限にし、少ないステップで採用情報へアクセスできるようにする
- 企業の魅力、雰囲気発信  
採用情報ページに社員の紹介、業務中の様子、やりがい等を掲載することで、事業内容以外に「企業」の魅力や雰囲気を発信

## 事業参加後のコメント(一部抜粋)

○ 今回の取組の中で気づかされたのは、社会人としてどういう立ち振る舞いやプレゼンをしなければならないかということ。後は、事業として提案を取り入れて貰うためにはどういうところを考えなければならないのか、とても悩んだ。技能継承はかなり予算がかかる提案もでたが、悩んだ末、360度カメラに行き着き、取り入れやすくて良かったかなと思う。ホームページは分析をしながら、自分が就職する時は何を見て何を学んで、どう会社選びをしていけばいいのかということも考え、凄く自分のためにもなった取組だった。

○ 先生からプロジェクトの話を聞き「面白そうだな」と受けてみたら、意外と時間がなく大変だったが、チームで何かやるというのは、自分の意見も言いつつ、他人の意見を尊重することが必要なんだと改めて思った。自分だけでは絶対に思いつかない事は他の人が意外と思いついていたり。その結果今回自分としては80点くらいあげたい内容となった。

○ 技能継承とホームページという二つの課題だったが、企業のリアルな問題を解決するという事はほとんど初めての経験であり、かなり難しい内容だったと思う。自分は部活動などで引き継ぎはしたことがあるが、「技能」の継承ではなく、引き継ぎしてしまえば終了するものだった。社会人の仕事として改善案を考える過程で、技能継承の難しさが伝わってきたところ。チームとしてプレゼンをまとめていながら、企業の視点を持ち、ホームページの課題では就活生の視点を持ち、技能継承では教える側の視点、教えられる新人側の視点と、色々な視点を持たなければいけないところが学校では味わえない部分であり、取組に参加してよかった。

### 学生感想 (抜粋)

大手ゼネコンでは、定点カメラやドローンを使い現場の検査を実施しているところはあるが、当社のような通信業界で活用されている現場はまだない。画角が狭いとピンポイントでの撮影となるが、360度カメラは範囲を絞らないことにより見たいところを見ることができるところがいい。目からウロコだった。ただ製品の問題として録画時間が30分と短いところがネック。

また、新人研修で、新人にカメラを付け、コミュニケーションをとることが技術の継承になるのではという提案だったが、自分は経験者にカメラを付け、その動画を新人に見せることは考えたが、逆に新人にカメラを付けさせてそれを活用していくという、違った視点が参考になった。

ホームページについては本当に細かい分析をいただいた。昨年、会社のホームページを新卒採用に向けたものにリニューアルしたが、どういったものを作っていったらいいかということで学生から意見を伺う機会がなかったところ。

学生がどれだけホームページを見て、SNSを活用しているのかという、経済団体主催のセミナーを受けてはいたが、今日実際話を聞いて参考になった。一番参考になったのは学生が求めている情報に行きづらい、見たい情報が散らばっているということ。

大企業との比較・分析も役にたった。というのは、実は我々は挨拶等が必要かどうか半信半疑だった。ホームページリニューアルにあたり、数社程度、同業他社のリサーチはしたが、今回120社ほど分析いただき、その上での提案ということで、すぐ活用したい。

### 企業講評 (抜粋)

10月から始まり2ヶ月ちょっとの取組であり、学生達は中間発表までは中々エンジンがかからずどうなることかと思っただが、後半何度か喝を入れて、今日はそれなりに形になったかと思う。学生の皆さん今日はお疲れ様でした。

大学では教育改革で、座学のみならず、最近は様々な企業とも接点を図りながらカリキュラムを進めて行くという大きな流れの中、このような話をいただき、まだ全学的な取組には至っていないがそのパイロットとして実施したところ。取組としてはいいもので、今後に繋がるかと思っている。

提案の中身については、学生なので教育的な視点というところを加味していただきたいところ。今回私が特に気をつけたところは、私自身の前職が情報通信業界にいたこともあり非常に興味のあるテーマだったが、私が出しゃばってしまうと企業様が求める本当のクリエイティブなところの目を摘んでしまうと思い、バックヤードに徹し、彼らのアイディアに期待したところ。彼らなりに頑張っ取り組んだと思う。

社会人として巣立つまでの準備期間ということで、なかなか学生気質が抜けず、至らないところがあるが、こういう機会をいただいたことで巣立つ準備ができたのかなと。彼らもそろそろ就活が始まるので、そうしたところに繋げていただければと考えている。

実はこのプロジェクトは大学の正規の科目でもあり、授業としては今後も続く。学生達も企業様からいただいたコメントをさらにブラッシュアップする気持ちはあるようなので、今期末まで時間の中さらに高みを目指して欲しい。

### 担当教諭 コメント (抜粋)